

➤承認研究課題

○令和元年度

承認日 承認期限	研究課題名	研究責任者		情報公開
		所属	氏名	
R1. 12. 27 R12. 3. 31	日本整形外科学会症例レジストリー（JOANR）構築に関する研究	整形外科	北野 慎治	PDF

○令和3年度

承認日 承認期限	研究課題名	研究責任者		情報公開
		所属	氏名	
R3. 12. 16 R12. 3. 31	「レセプト及び DPC データを用いた循環器疾病における医療の質に関する研究」	循環器内科	江守 裕子	PDF

○令和6年度

承認日 承認期限	研究課題名	研究責任者		情報公開
		所属	氏名	
R6. 6. 25 R10. 12. 31	「高齢の慢性呼吸器疾患患者における新たなリハビリテーションプログラムの有効性に関する大規模多施設検証」	リハビリテーション部	中下 将輝	PDF
R7. 3. 21 R9. 3. 31	「入院を契機に発症した排尿障害に対する多職種連携の有用性に関する研究」	泌尿器科	松田 陽介	PDF

○令和7年度

承認日 承認期限	研究課題名	研究責任者		情報公開
		所属	氏名	
R7. 8. 13 R9. 12. 31	「福井県内の他施設データを用いた性感染症の診断・治療に関する研究」	泌尿器科	松田 陽介	PDF
R7. 10. 22 R10. 3. 31	「経皮内視鏡的胃瘻増設症例の予後と栄養・免疫指数との関連についての検討」	消化器内科	大藤 和也	PDF
R7. 10. 29 R9. 3. 31	外来でがん薬物療法を受ける高齢患者・家族の在宅療養における思いに関する検討会」	看護部	長谷川 あゆ美	PDF
R7. 12. 22 R12. 3. 31	2025年「日本透析医学会統計調査」への参加	人工透析センター	原田 嘉美	PDF
R8. 1. 30 R9. 3. 31	「A病棟入院患者の転倒・転落の要因と分析」 ～転倒・転落対策の明確化～	看護部	山岸 朱里	PDF

NCD（一般社団法人 National Clinical Database）

外科手術・治療情報データベース事業

本事業は、日本全国の手術・治療情報を登録し、集計・分析することにより医療の質の向上に役立て、患者さまに最善の医療を提供するために利用されます。

当院では、外科、泌尿器科における手術症例について登録を開始しています。

全国の医療施設診療科の情報を収集することで、手術を行っている施設診療科の特徴、医療水準の評価、適正な外科専門医の配置、手術を受けた方の予後、これから手術を受ける方の死亡・合併症の危険性などを明らかにすることができます。

これらの登録情報は匿名化され、患者さまに不利益が生じることはありません。

また、登録については患者さまの自由な意思によりますので、拒否することが可能です。

詳細については NCD 患者さま向け説明資料をご覧ください。
NCD についてのホームページはこちらからアクセスできます。

[PDF ダウンロード](#)

<http://www.ncd.or.jp>

JND (Japan Neurosurgical Database)

日本脳神経外科学会データベース研究事業

現在、当院では、「日本脳神経外科学会データベース研究事業 (Japan Neurosurgical Database : JND)」に協力しています。
2018 年 1 月から当院脳神経外科に入院された患者さんの臨床データを解析させて頂き、脳神経外科医療の質の評価に役立てることを目的として

解析にあたって提供するデータは、提供前に個人を特定できない形に加工した上で提供しますので、患者さんの個人のプライバシーは完全に保護されます。

本研究の解析に自分のデータを使用されることを拒否される方は、担当医にその旨お申し出下さいますようお願い致します。

その他研究事業についての資料の閲覧を希望される方は、こちら (研究班ホームページ) をご参照ください。 <http://jns.umin.ac.jp>

日本整形外科学会症例レジストリー (JOANR) 構築に関する研究について JOANR (Japanese Orthopaedic Association National Registry)

当院の整形外科では、運動器の病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。

この研究の目的は、運動器疾患の手術に関する大規模データベースを作り上げることです。整形外科が扱う運動器疾患は、小児から高齢者まで幅広い方々を悩ませ、多くの方の健康寿命を損なう大きな原因となっています。その治療である手術の件数も年々増加していますが、その全国規模の全容を捉えられるデータベースがまだありません。全国の整形外科で情報を共有できるシステムを作り上げることが、有効な治療法や手術の安全性を科学的に確立するために大変有用です。日本整形外科学会が作りあげるこの大規模データベースに参加・協力し、より良い治療を探って参ります。

本研究の試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師にご連絡ください。

詳細については **JOANR** 患者さま向け説明資料をご覧ください。

[PDFダウンロード](#)

JOANR についてのホームページはこちらからアクセスできます。

<https://www.joanr.org/>

消化器内視鏡に関連する疾患 治療手技データベース構築

日本消化器内視鏡学会の臨床研究（多施設共同 前向き観察研究）

この研究は、日本消化器内視鏡学会内に設けられた **Japan Endoscopy Database(JED) Project** が主導となり企画された多施設共同研究です。現在、日本全国の消化器内視鏡検査および治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者さんに最善の医療を提供することを目指すプロジェクトです。この様な内視鏡関連手技の全国規模の情報集積は初めてのところみであり、患者側だけでなく、医療を提供する側にも大きな利益をもたらすものと考えています。

日本消化器内視鏡学会では、この研究で集められたデータを分析することで以下のこと（説明資料参照）を明らかにすることを目的としています。

詳細については **PDF** ファイルをご覧ください。

[PDFダウンロード](#)

JED についてのホームページはこちらからアクセスできます。

<https://jedproject.jges.net/>